



住みよい町づくりへ  
議会と住民をつなぐ

第**54**号

平成24年7月18日

# 河津町議会だより



河津バガテル公園

## 主な内容

- 平成24年第2回定例会（要旨）…………… 2 P
- 町長の行政報告…………… 3 P
- 一般質問…………… 4～8 P
- 知ってますか 町の支援策…………… 9 P
- 議会の動き・私も一言・他…………… 10 P

# 平成24年 第2回定例会 (要旨)

6月5日、6日に開かれた第2回定例会は、下記の通り、第1日目は、町長の行政報告に続いて、4名の一般質問が行われ、第2日目には、1名の一般質問が行われた。報告案件2件、同意案件1件、承認案件3件、条例案件3件、平成24年度補正予算5件、発議案件2件を承認し、すべて原案通り可決承認した。

〰6月5日(火) ●町長の行政報告 ●一般質問4名 〰6月6日(水) ●一般質問1名

- 報告第1号 専決処分の報告について (法第180条の専決処分)  
 報告第2号 専決処分の報告について (法第180条の専決処分)  
 同意第2号 固定資産評価員の選任について (笹原291番地 土屋清幸氏)  
 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて (平成23年度河津町一般会計補正予算(第9号))  
 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて (河津町税条例の一部を改正する条例について)  
 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度河津町一般会計補正予算(第1号))  
 議案第34号 財政調査基金条例の一部を改正する条例について  
 議案第35号 河津町印鑑条例の一部を改正する条例について  
 議案第36号 河津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
 議案第37号 平成24年度河津町一般会計補正予算(第2号)  
 議案第38号 平成24年度河津町介護保険特別会計補正予算(第1号)  
 議案第39号 平成24年度河津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
 議案第40号 平成24年度河津町水道事業会計補正予算(第1号)  
 議案第41号 平成24年度河津町温泉事業会計補正予算(第1号)  
 発議第1号 河津町議会会議規則の一部を改正する規則について  
 発議第2号 河津町議会傍聴人取締規則の全部を改正する規則について

## 可決した24年度補正予算

### ○河津町一般会計補正予算

歳入歳出に17,860千円を追加し、総額をそれぞれ3,559,852千円とする。これは4月の人事異動により、各課の給料、その他人件費の変動等による補正。

### ○河津町介護保険特別会計補正予算

歳入歳出に1,815千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ754,973千円とする。

### ○河津町後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ170千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ99,480千円とする。

### ○河津町水道事業会計補正予算

4月の人事異動等による人件費等の補正と、配水施設工事の補正。

### ○河津町温泉事業会計補正予算

4月の人事移動等による人件費等の補正。

## 議会全員協議会 (3月22日)

### ○公立湊病院組合理約の全部変更について

公立湊病院組合の事務局長他2名出席で説明を受けた。

## 平成24年第1回臨時会

3月28日に開かれた第1回臨時会は下記の議案を可決しました。

### ○諮問第1号 人権擁護委員の推薦について

河津町見高1269番地の115 土屋 一 義氏

### ○議案第33号

公立湊病院組合理約の全部を変更する規約について。

# 平成24年 第2回定例会行政報告 (抜粋) 6月5日



## ○職員の人事異動

4月1日付で30人の人事異動の発令。本年度は平成23年度の退職者2人の補充として、2人新規に採用。本年度人事交流を再開し、賀茂健康福祉センターへ1人派遣、県から1人保健福祉課に。それぞれ1年の任期。東環環境センターへ6人、東伊豆町へ1人を派遣。

## ○地震対策

国が立ち上げた「南海トラフの巨大地震モデル検討会」の結果を受け、5月9日より25日にかけて下河津9地区で話し合いを行う。5月30日には、津波対策庁内検討会議を立ち上げた。

## ○町税関係

本年度も高額滞納者の整理事務を、静岡地方税滞納整理機構に移管した。対象は10件、約12,327千円の予定。3月末で徴収が約2,678千円、納付約束が約6,920千円の合計約9,598千円の成果。

## ○静岡県後期高齢者

### 医療保険料の改定

平成24、25年度の保険料は医療費の増加などで均等割額が1,500円増の37,900円、所得割額が0.28%増の7.39%。また法律の改正により中低所得者の負担軽減を図るための賦課限度額が5万円増の55万円となり、8月の保険料から適用。

## ○地域医療の充実

5月1日から下田メディカルセンターが開院。同日町内でも伊豆今井浜病院が開院、今夏には上河津診療所が開院予定。

## ○子育て支援、

### 少子化対策事業

子育てファミリー住宅整備支援事業は、木造新築増築を町内業者の施工を条件に経費の1/2、50万円を限度額で補助。23年度実績は補助件数24件、補助金額は1,145万1千円、工事契約額ベースで1億7百万円強。また不妊治療助成事業として、一般不妊治療10万円、特定不妊治療30万円を限度に助成。23年度は15件の申請、4組の夫婦に成果。

## ○観光施設の利用状況

踊り子温泉会館は63,405人前年比6,264人減。サン

シップ今井浜は23,378人前年比3,399人減。見高入谷高原温泉は9,733人前年比767人増。コテージ棟は802人で横ばい。峰温泉大噴湯公園は107,573人前年比51,716人大幅増。カーネーション見本園は22,301人前年比7,847人大幅増。河津バガテル公園は76,850人前年比16.9%増。

## ○来年に向けた

### 花卉園の状況

花菖蒲園は来年度オープンに向け技術的に各方面の指導を受け作業が順調に進んでいる。カーネーション見本園はベンチ式栽培の新たな栽培方法の取り組みに準備を整え6月末には定植予定。

## ○河津七滝遊歩道の

### 落石復旧対策事業

昨年10月落石事故に伴い初景滝、エビ滝付近の工事は県が主体となり近く工事に着手。大滝遊歩道は、土地所有者の了承が得られ工事方法の検討を進めている。

## ○サンシップ今井浜

サンシップ今井浜は9月末をもって閉館。また踊り子温泉会館は5月15日から7月15日まで修繕のため休館。

## 一般質問

## 災害対策 防災ハザードマップの配布時期 町長—来年の6月以降

質問…総務課長（防災監）と職員とが出向いて実施した各地区の説明会の内容は。

総務課長…9地区の津波対策に各地区との打合せ会を開催。3月の国の発表に対する津波対策により、避難場所、避難経路の確認を中心に実施。地元ならではの場所、経路を示していただき、要望・意見を聞いた。それをもとに、今後さらに詳しい調査をし、再度各地区に伺いたい。

町長…防災ハザードマップの配布時期は県も地震動・津波高等の想定を行ったうえ、来年の6月頃、第4次被害想定を受けて防災ハザードマップを作成。現在のハザードマップに豪雨や土石流による急傾斜地崩壊、地すべりなどの危険地域に避難場所の見直しなど、全てのデータを収集して作成したいので来年の6月以降になる。

### 町内避難場所に浄水器配布

質問…災害時に飲み水の確保の意味合いから各自主防災会に浄水器を配備して道路の寸断等に備える考えは。

町長…地震や津波、土石流等で孤立する懸念が予想される4地区に、非常食を配布してある。町にはエンジン付11台、エンジンなし9台のうち役場に8台、学校に8台、浄水場に2台、逆川と下佐ヶ野に各1台を配置。各地区の要望、必要性に応じて設置したいが新規購入は考えていない。



防災訓練風景

### 町財政増収対策

#### ふるさと納税の推進、活用

質問…ふるさと納税の実情は。

まちづくり推進課長…平成20年4月に始まり、20年度15件145万円。21年度7件38万5千円。22年度14件157万5千円。23年度13件111万円。最高額は1件100万円。

町長…感謝を込めて手書きの礼状を送っているが、今指摘さ



川下英一 議員

れた町内の施設を利用できるよう特別町民証の発行を考えたい。

### 少子高齢化対策 在宅介護・在宅育児・ 結婚奨励

質問…町人口が8,000人を割った。町民増には結婚奨励が基本と考える。町長の考えは。

町長…人口は減ったが世帯数は増えている。1家族2.40人で核家族化。賀茂の中でも西伊豆、松崎、南伊豆と子供の数で比べると多い。

### 新規エネルギー メガソーラー 発電基地と企業誘致

質問…町有地（財産区有地も含めて）に脱原発のメガソーラー基地を誘致して、エコエネルギータウンとしては。又、県の動向は。

副町長…県から候補地の紹介依頼があった。町有地を7ヶ所選定し、県に報告。うち下田境と縄地の下田寄り2ヶ所。設置可能場所も相当あるので再生エネルギーを使うまちづくりを情報発信し企業誘致につなげたい。

## 河津桜振興 本家としブランドを守る!! 町長—桜公園も将来に向け計画策定を

質問…河津桜の本家としてブランドを守る必要がある。桜の里づくり、桜公園は予算委員からの意見書についての対応は。

町長…桜の里づくりについては、23年の河津川継持管理行動計画により取り組んでいる。田中～沢田の地権者のご理解をいただき堤防の内側に植樹する取り組みをしている。桜公園は将来に向け計画策定する方向で進めたい。



桜の新芽枯れの状況

質問…桜の新芽が枯れたのは幼果菌核病と診断された。どう対処するか。

産業振興課長…早速消毒作業を実施した。他の地域も確認をし対処する。

質問…桜の維持管理は財源も含め大切な取り組みです。今後、ボランティア団体の協力が必要なので参加者の受け入れ態勢は。又財源確保は、桜まつり町外出店者の賛助会費の負担金増額は考えられないか。

産業振興課長…ボランティア団体には大変感謝しています。桜管理マニュアルも作成しご協力をお願いして参ります。財源の賛助会費は実行委員会の課題とします。

### 産業振興活性化、地元業者の活用は

#### 町長—ブランド開発と地元事業者の参加促進

質問…産業の活性化対策と24年度予算の早期執行、地元業者・商店の利用は。

町長…地域ブランドの創出とし特産品を活かした食の河津ブランドの開発に取り組んでいる。予算の執行は工事、修繕も早く執行の指示は出している。尚、地元事業者の活用は、土木工事、修繕工事、委託業務、物品調達等、入札見積に積極的に参加を促すよう指示をし

ている。

産業振興課長…町内事業者数は22年から23年では22件の減少が見られた。

質問…商工会でも新事業計画も示されたが町と商工会も同じ目標に向けて取り組んでほしい。その為にもお互いスタッフの情報・意見の交換場所は設けられるか。

産業振興課長…現状に於ても協力しながら事業を進めている。



渡邊 弘 議員

### 側溝堆積物の処理

#### 町長—検討し取り組む

質問…側溝の堆積物の処理と河口流木処理について。

町長…側溝の清掃については、地区で取り組んでいただいております。堆積物の処理についても苦慮している状況です。検討しながら取り組みます。

町民生活課長…側溝の老朽化など状況を見て堆積物の処理も検討する。

建設課長…流木処理は観光シーズン前に除去の予定。

### 津波対策

#### 町長—避難看板は設置

質問…国の想定で当町は、11.7mと表示が示された。海拔表示をしていただいたが観光地としてお客様を守るため、避難場所に誘導看板が必要であるが対応は。

町長…避難対象者は町民だけでなく、買物客、観光客等いろいろです。避難の想定は承知しております。看板の設置も先ず海岸に。避難場所の確定により随時設置は当然と思う。

## 新しい推計値に対しての対策は 町長－津波対策検討委員会を設けた

**質問**…内閣府の発表に対し町民の津波被害の心配が聞こえてくる。被害にあわないための減災の必要を考えるべきである。対策はとられたか。地区との協議の内容はどうかであったか。

**町長**…3月末の推計値の公表については町民の不安を払拭する必要があると考え、地区の役員と5月中に、避難地・避難経路の見直し等について協議をした。その他の問題も意見を聞いた。役場に津波対策庁内検討委

員会を新設し、津波警報が出た時の発信や周知の方法・避難に関連する事など検討を始めている。

**総務課長**…9地区の役員との協議の内容は、当該地区でなければ知り得ない避難場所の候補地、避難経路その整備、表示、建物の高さや津波に対する強度の心配、観光客の避難誘導など。それらを委員会の中で再度検討をし、要望を聞きながら話し合いを繰り返し、できることから行っていく。

### 公民館の耐震は

**質問**…ハザードマップは配布するだけでなく学習会を設け徹底的な周知を。避難地としての公民館の耐震は。

**総務課長**…年次の古いもの鉄筋・木造とあるがほとんどの所は耐震診断をしていない。

**町長**…防災センターとして既設の地区もある。ハザードマップ作成の時に避難地としての機能についてしっかり判断し、各地区と対応しながらすすめていく。

### 体力維持の健康教室は 町長－健康増進計画の中に位置づけがある

**質問**…健康長寿をめざして

いくため運動習慣は大切。健康づくり教室の内容はどの様なものがあるか。

**保健福祉課長**…地域支援センターで行っている機能低下予防教室（一次予防・二次予防）、健康保全目的の運動（スポーツウェルネス）がある。

**教育委員会事務局長**…24年度の健康づくりを意識した事業はバランスボール教室・



介護予防教室



小林和子 議員

ピラティス教室・太極拳教室を予定している。夜、B&Gセンターで大人を対象に夜4～6回の開催。健康づくりのハイキングを春と秋、年2回の予定。寿大学の講座の中で年一回ぐらい健康体操を実施している。全体的に参加は女性が多い。子どもの遊び名人塾、みどりの少年団の活動の中で年1回スポーツを取り入れている。

**質問**…介護認定をうけない様、広く大勢の人に機会をつくって 地域へ出向いての健康教室の開催は。

**保健福祉課長**…地元から要望を出してもらってそこで相談をしながら進めていきたい。

## エコタウン宣言を 町長－町民の気運を待って

**質問**…7月から始まる再生可能エネルギー買取価格制度は、問題もあるが、河津町にとってはビジネスチャンスだ。今年度、静岡県と共同で進める小水力発電は、伊豆半島エコリゾートタウンとしてのまちづくりである。今後の方向性は。

**町長**…エネルギーの供給に伴うリスク分散を図ることは重要である。風力発電は21基が、県の認可を受け進められている。また、小水力発電についても、調査研究を開始する。小水力は、中山間地域の振興・農業振興・観光振興の面からも検討する。まず町民の理解を得て、エネルギーの地産地消に取り組みたい。

**質問**…小水力発電については利点がある。一つは、設備利用率が60%と高い。全国でも事業展開しており、事業化も行われている。観

光地である鬼怒川においても、幾つもの事で発電量を確保している。二つ目は、我が町は自然に恵まれ水が豊富にある。しかも一つの水を何回も利用が可能。小水力について、今一度回答を。

**町長**…小水力については今年度中に推進していく。売電は、将来的には可能になればいいかなと考えている。

**質問**…売電による事業化で利益確保は可能。利益の一部を産業振興費として助成

再生可能エネルギー発電の買い取り価格(案)

分野	価格(円)	期間(年)
太陽光	事業用	42
	家庭用	42
風力	20kw以上	23.1
	小型風力	57.75
地熱	1.5万kw以上	27.3
	1.5万kw未満	42
中規模水力	1000kw以上3万kw未満	25.2
	200kw以上1000kw未満	30.45
小水力	200kw未満	35.7
	下水汚泥などのガス化	40.95
バイオマス	固形燃料・木材	13.65~33.6
	固形燃料・木材以外	17.85

※1kw時当たり。価格は税込み。太陽光の家庭用は消費税負担なし

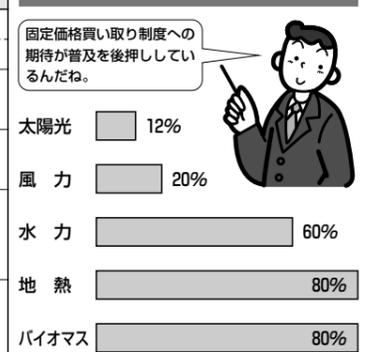


土屋 貴 議員

する。そのために、エコタウン宣言(仮称)をして町民に方向性を示すことが必要ではないか。

**町長**…本事業が今年度初めてであり、自然エネルギーの導入に向けた機運が高まるのが大事。

各エネルギーの標準的な設備利用率



静岡新聞(共同通信配信より)

に提案している。長期的視野に立ち、各地の特色を生かしていきたい。

**質問**…国土交通省が推進している日本風景街道がある。「なごみの伊豆なごみの道」に指定されているが。

**町長**…道路を舞台として個性を生かした美しい国土景観の形成、地域振興等を目的としている。国交省と協力して取り組みたい。

### 伊豆半島を花半島に

#### 町長－6市6町による首長サミットで提案

**質問**…25年度の観光推進策は。9月頃までにエージェントに対しプレゼンテーションがなされないと間に合わないと思うがどうか。

**町長**…南禅寺のオープン、菖蒲園の再開、七滝遊歩道の再開があり誘客宣伝に努めたい。

**産業振興課長**…観光協会も新体制になった。新しい集客イベントや誘客イベントを検討中。

**質問**…伊豆半島サミットで、伊豆全体のグランドデザインを作るとされているが。

**町長**…伊豆半島全体が1年を通じて花公園にするよう

## 国道414号(天城区間)に登坂車線を!

### 町長 - 設置に向けて国・県に働きかける

**質問**…国道414号の河津・湯ヶ島間は、勾配がきついし、急カーブが多くかなり走りにくい道路だ。伊豆縦貫道の、河津・湯ヶ島間の計画がいつになるかわからない中で、国道414号の天城区間に登坂車線をつける事が非常に重要だ。これが出来れば、走行時間の短縮はもちろん、前方の遅い車に引っ張られる事もなく、イライラ運転もなくなり、事故防止にもつながると思うが、登坂車線の設置について国・県に働きかけてはどうか。

**町長**…現状を見ると大型バスやトラックが前を走っていても追い越す事が出来ない。この事は私も重々承知している。今回、この質問があるという事で、県の交通基盤部長さんとお話しさせていただき、又、下田土木事務所にも行ってお願いした。下田土木も理解してくれた。これからも国・県に対して要望していく。

**質問**…伊豆縦貫道の河津・稲梓間が、近々事業化されるといいますが、川横あたりにインターが出来て小鍋、逆川へ分かれると思うが、そちらが本線になり、下田に直行してしまう事が心配される。この対策を考える事が重要だが。

**町長**…新しい道路ができる

ことによって、地域が衰退する場合もある。その様にならないための魅力づくりが必要だ。河津・稲梓間はトンネルが多く、60万㎡の残土が出るという。逆にこの残土を埋め立てに利用して、地域振興につなげられないか検討している。この事も国の方へ要望している。

**子供の安全確保!**  
**大災害に備えて小学校の統合と幼稚園を合わせたの移転を**  
**町長 - 避難誘導、避難地をしっかりと考えたい。小学校の統合はいずれ検討が必要。**

**質問**…南海トラフの巨大地震が発生した場合、下田市では20mを超える、河津でも11.7mの津波がくるといふ。南小学校と桜幼稚園の敷地は、海拔5.5mと聞かすが、子供たちの安全は確保できるのか。又、18年に小学校統合検討委員会が出した、「統合を検討する条件」の中に、複式学級が予想される時というのがある。現在はかろうじて、その状況をクリアしている様だが、大災害に対しての子供たちの安全確保と合わせ、小学校統合を検討すべきである。同時に幼稚園と一緒に安全な場所へ移転すべきではないか。

**町長**…津波に対しては避難誘導、避難地の問題をしっ



山田 勇 議員

かり考えたい。災害時、子供たちの生命を守るのは行政の役目。いずれ統合については検討しなければと思っている。子供をしっかりと教育するには、地域エゴにこだわらないで、統合を考えていかなければならない。**教育長**…南小は平らな所に3階建ての建物があるという事で、逆に必要な建物とされている。屋上の高さは、18mで安全である。子供達は屋上に避難させる予定だ。統合には「賛成」「反対」両方の声が入ってくるので、今年度、保護者の方を対象にアンケート調査を実施する予定である。移転については、現実的な問題として、莫大なお金がかかるので当面は考えていない。ただ、私の意向、気持ちとしては、移転する場合は役場以北に立てるのが望ましいと思っている。



南小で避難訓練する子供達

# 知っていますか 町の支援策

## 一人ひとりが輝くまちづくり

### ○結婚祝金事業

- ・町内の新たに夫婦となった方々 (1年以上居住)
- ・婚姻後6ヶ月経過した日から1年以内に申請
- ・夫婦一組10万円

### ○不妊治療費助成

- ・不妊治療のカウンセリング中の方
- ・一般不妊治療者・特定不妊治療者
- ・経費の1/2以内 (上限10万円) 1回2万円 年10万円限度
- ・特定(上限30万円) 1回15万円 年30万円限度

### ○出産費助成

- ・子供が生まれた方
- ・10万円の助成
- ・双子の場合は15万円

### ○予防接種事業

- ・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌(乳幼児)
- ・子宮頸がん(13歳未満女子)の予防接種をする方
- ・無料

### ○子育てファミリー住宅整備支援事業

- ・世帯構成員に18歳未満の子供がいる家庭
- ・住宅の新築・増改築
- ・補助率1/2以内
- ・上限50万円
- ・町内業者で木造住宅

### ○成人予防接種事業

- ・65歳以上でインフルエンザ予防接種を受ける方
- ・1人1,000円補助

### ○高齢者肺炎球菌予防接種

- ・肺炎球菌の予防接種を受ける方
- ・1人3,000円補助

### ○人間ドック受診者補助金

- ・30歳以上75歳未満の人
- ・国民健康保険被保険者
- ・きっかけ健診・特定健診を受診していない者
- ・国保税の滞納がない者
- ・受診結果を提供できる者
- ・1人10,000円補助

町ではさまざまな支援策を行なっています。  
 一人でも多くの方が活用して下さい。

## 豊かで快適なまちづくり

### ○太陽光発電システム設置事業

- ・太陽光発電システムを設置する人
- ・補助率5万円/1kw
- ・上限20万円

6~7人 .....622千円  
 8~10人 .....811千円  
 11人以上は大きさによって変わる  
 .....上限は3,132千円

### ○合併処理浄化槽設置補助事業

- ・合併処理浄化槽の設置替に対する補助
- ・新設は適用外
- 5人 .....516千円

### ○生ゴミ処理機の購入補助

- ・1基当たり限度額20,000円
- ・1世帯2基以内
- ・購入金額の2分の1



土屋 桑太郎 議長

議長の諸般の報告  
議会の動き

(4月～6月)

1、議長の活動

- ・ 県・浙江省友好提携30周年記念式典(グランシップ)
- ・ 町村議長会
- ・ 郡議長会
- ・ 全国議長・副議長研修会
- ・ 地方議会連絡協議会研修会

2、議会活動

- ・ 例月出納検査報告書受領(2月・3月・4月分)
- ・ 議員月例会
- ・ 議会だより編集委員会
- ・ 議会運営委員会

常任委員会関係

- ・ 文化の家運営協議会
- ・ 社会福祉協議会理事会
- ・ 学校給食審議会
- ・ 国保運営協議会

3、諸会合

- ・ 交通安全対策委員会
- ・ 新東名開通式(副議長)

- ・ 下田メディカルセンター竣工式
- ・ 今井浜病院内覧会
- ・ 下田防犯協会総会
- ・ 黒船祭執行式典
- ・ 河津町自衛隊協力会総会
- ・ 観光協会総会
- ・ 農業経営振興会総会

- ・ 商工会総会

4、町の行事

- ・ 消防団入団式
- ・ 河津中学校入学式
- ・ 各小学校入学式
- ・ さくら幼稚園入園式
- ・ わかば保育園入園式

～私も一言～

河津町漁業経営振興会の設立から一年が過ぎました。

目的は、第一次産業と観光を結び生産物の加工販売をめざす六次産業化と後継者育成です。その中で、観光客や町民の皆様が谷津港に来て楽しんで頂きたいと考えました。毎月第2、4の日曜日には谷津の朝市を開催し、新鮮な魚介類を提供しています。今年MFA丸を造船し、漁業体験、河津町やジオパークを海から見る事ができる事業にも取り組みます。

漁業者は、収入も不安定で社会保障等も無い事から後継者不足となっています。㈱MFAマリンを設立した事により、資金の融資が受



新しい船出

けられたり、総合保険加入も可能となりました。今後社会保障の充実、小中学生の漁業体験、観光産業と関係等取り組んで参ります。河津町漁業経営振興会谷津支部と㈱MFAマリン、それぞれの役割のもとに、町全体の活性化にも協力して参りたいと思います。

町民の皆様にも是非一度MFA丸をご利用下さい。

河津町漁業経営振興会

㈱MFAマリン 渡邊昌宏

編集後記

第2次救急を担う念願の地域の病院が開院し、診療が始まった。近くで命の安心が得られるようになったこと、喜ばしい。診療を受ける側も正しい受診の仕方が大切だ。病に罹らぬ様、積極的に健康づくりをしていこう。(小林)

- 広報編集委員長  
……………小林 和子  
広報編集副委員長  
……………土屋 貴  
委員……………渡辺 弘  
……………吉田 重好  
……………稲葉 静